参考資料３

地方独立行政法人福岡市立病院機構　令和３年度の業務実績に関する評価結果（案）まとめ

【小項目評価基準】　評価5･･･年度計画を大幅に上回って実施している。
評価4･･･年度計画を上回って実施している。
評価3･･･年度計画を順調に実施している。
評価2･･･年度計画を十分に実施できていない。
評価1･･･年度計画を大幅に下回っている。

大項目	小項目		目標値有無	ウエイト	自己評価	第１回評価委員意見（斜体の記載は、質問への回答）	市評価案	評価の判断理由・評価のコメントなど	資料頁
第１　住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
1　医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども	有	2	4	○フォーミュラリーについて、良質な医療の実践にどうつながったのか。 *→従来、必ずしも小児に合った鎮痛剤が使用されていないという状況にあったため、取扱いを統一し安全性を高めた。*	4	○　目標値はほぼ全ての項目で達成しており、また、移行期医療や入退院支援の拡充並びに「アレルギー看護外来（仮称）」の試行設置に取り組むなど、小児総合医療施設として求められる役割を果たすべく診療機能の充実を図っており、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価４」とする。	22～27
		市民	有	2	4	○ICUに専任の管理栄養士を配置したとのことだが、これまでのNST（栄養サポートチーム）との違いは。 *→既存の栄養サポートチームの活動の一環として、ICUでの栄養管理にも取り組んでいる。* ○コロナに重点的に取り組む中で、一般病棟で93.9%の病床利用率を維持することは大変なこと。	4	○　コロナの影響を受けて、入院患者数や病床利用率等で目標値を下回ったものの、手術件数は目標値のみならずコロナの影響が少ない前々年度も上回っており、入院単価も目標を大きく上回るなど、高度専門医療の充実に向け取り組んだ。また、救急医療については搬送件数が目標値を下回ったものの、新たな取組により診療の強化を図ったことなどから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価４」とする。	28～31
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども	有	2	4	○逆紹介率（66.6%）が他の小児高度専門医療機関と比較して高い水準にあり、地域との医療連携の推進に努めていることが分かる。	4	○　ほぼ全ての指標で目標値を上回っており、特にオープンカンファレンスについてはWebを積極的に活用するなどして目標値を大幅に上回る実績をあげ、また、地域包括ケアシステムに関する取組としては、退院前後の患者宅への訪問指導を行うなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価４」とする。	32～35
		市民	有	2	3	○地域医療への貢献に積極的に取り組んでおり、評価できる。さらに取組を進めるのであれば、地域包括ケアシステムを支援するという意味でも、認定看護師や特定行為研修修了者を地域のリソースとして積極的に地域に出していただくとより質の高い医療と看護の提供が実現できるのではないか。	3		36～39
	(3) 災害・感染症等への適切な対応	こども	有	2	4		4	○　コロナへの対応については、病床の追加確保などにより入院・外来ともに体制を強化するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価４」とする。	40～43
		市民	有	2	4	○訓練開催数について5回を目標としているところ、実績は3回であるが、背景は。 *→コロナ対応に注力する中で、消防当局に事前相談のうえ対応した。また、その分、各回の訓練の質を高めるなど工夫した。* ○１年前（R2実績）とほぼ同様の取組をしており、同じように評価5としてもいいのでは。院内でクラスターを発生させたことをマイナス評価要素としているのか。 *→（クラスター発生をマイナス評価要素としているわけではなく、）令和3年度は令和2年度以前の経験を活かし、また市立病院の在り方として引き続き感染症医療に対応してきたという結果を踏まえ、自己評価を4としている。*	5	○　コロナ対応については、施設・設備の整備を進めるなど医療機能の充実を図ったほか、JMAT活動への協力としてコロナ療養ホテルへの医師等の派遣、市が実施する深夜帯のワクチン接種や転院支援調整事業への積極的な協力等、市立病院としての役割を果たしたことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価５」とする。	44～49
2　患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども	有	2	3	○LINEによる診療受付の取組を拡充しながら進めている点で素晴らしい。 ○病棟での無料Wi-Fiの増設も患者にとって非常に大きなプラスになるのでは。 ○患者アンケートの結果は昨年と同等だが、面会制限など患者への制約がある中で同等の評価を受けることは素晴らしいこと。 ○マイナンバーカードの健康保険証としての利用を早期から取り組んでおり、高く評価したい。今後は、これをどう有効に活用していくか検討を進めてほしい。	3		50～53
		市民	有	2	3	○患者アンケートの結果は昨年と同等だが、面会制限など患者への制約がある中で同等の評価を受けることは素晴らしいこと。 ○ロボットの導入について、具体的な成果は。 *→従来１～2名配置していた職員の配置を効率化できた。* ○マイナンバーカードの健康保険証としての利用を早期から取り組んでおり、高く評価したい。今後は、これをどう有効に活用していくか検討を進めてほしい。	3		54～57
	(2) 情報発信	こども	有	1	3		3		58～61
		市民	有	1	4	○コロナの記録集については、市民の目に留まるところへの配布は予定があるか。 *→エッセンスのホームページ掲載などを検討* ○コロナの記録集は、関係者に役立つ情報がたくさんあり、他の病院でも活用できる内容。意義のある取組。	4	○　地域住民や中学校など幅広く情報発信に取り組んだことや、コロナ対応による知見を記録集の形で整理し、他の医療機関をはじめ幅広く周知を行うなど、市民・患者に開かれた病院づくりに積極的に取り組んだことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価４」とする。	62～65
3　医療の質の向上	(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	こども	有	2	3		3		66～69
		市民	有	2	3	○看護師の負担軽減を図る取組として、派遣会社を活用したというのは素晴らしい。 ○ワークライフバランスにも力を入れているが、５日以上の年休取得率はどのくらいか。 *→5日以上の年休取得率は、令和3年度は100%。*	3		70～73
	(2) 信頼される医療の実践	こども	有	2	4		4	○　一部の指標が目標値を若干下回ったものの、薬剤管理指導や栄養指導を積極的に実施し、特に薬剤管理指導については、薬剤師によるTPN無菌調製の対象を拡充するなど、さらなる安全性の向上に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価４」とする。	74～77
		市民	有	2	4		4	○　患者数の減少により薬剤管理指導件数及び栄養食事指導件数が目標値を下回ったものの、クリニカルパスの拡充や多職種の連携によるがん患者等への指導管理に積極的に取り組み、また、コロナなど感染症に関する学術研究に取り組み、その成果を広く共有するなど、医療安全対策について年度計画を上回って実践していると判断されるため、「評価４」とする。	78～83

参考資料３

地方独立行政法人福岡市立病院機構　令和３年度の業務実績に関する評価結果（案）まとめ

【小項目評価基準】　評価5･･･年度計画を大幅に上回って実施している。
評価4･･･年度計画を上回って実施している。
評価3･･･年度計画を順調に実施している。
評価2･･･年度計画を十分に実施できていない。
評価1･･･年度計画を大幅に下回っている。

大項目	小項目		目標値有無	ウエイト	自己評価	第１回評価委員意見（斜体の記載は、質問への回答）	市評価案	評価の判断理由・評価のコメントなど	資料頁
第２　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
	1　自律性･機動性の高い運営管理体制の充実		－	1	3	○デジタルトランスフォーメーション(DX)の病院での活用については、ロボット等の導入も含め、来年度以降の活用に期待している。 ○デジタルトランスフォーメーション(DX)について、計画的に進める必要がある。また、両病院で共通の考え方のもと取り組むと良いと考える。 *→法人全体でのロードマップを作成し、これに沿って取り組んでいる。また、グランドデザインを定め、組織も整備し、機構全体で取り組んでいる。*	3		84～85
	2　事務部門の機能強化		－	1	3		3		86～87
	3　働きがいのある職場環境づくり		有	1	3	○タスクシェアやタスクシフティングが進んでいることが確認できた。特定行為研修修了者を有効活用できるよう、さらに取組を進めてもらえれば。	3		88～91
	4　法令遵守と公平性･透明性の確保		有	1	3	○SDGsに寄与する取組については、その旨、明示したらよりよいでのはないか。 ○個人情報の取扱いなど、ひとたび事故が起きるとリスクの大きな点。目標としている受講率100%が達成できるよう、声掛けなどを積極的に行っていただきたい。なお自己評価3は妥当。	3		92～93
第３　財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置									
	1　持続可能な経営基盤の確立	(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化　こども	有	2	3		3		94～95
		(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化　市民	有	2	3		3		96～97
		(2) 投資財源の確保	－	1	3		3		98～99
	2　収支改善	(1) 収益確保　こども	有	2	3		3		100～103
		(1) 収益確保　市民	有	2	3		3		104～107
		(2) 費用削減　こども	有	2	3		3		108～111
		(2) 費用削減　市民	有	2	3		3		112～115
第４　その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置									
	1　福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども	－	2	4	○臨床研究は素晴らしい業績であり、評価5でもいいのではないか。 ○全国で1番や3番などの順位をキープすること自体大変なこと。これ位以上グレードアップしようがない。評価5とすべき。 ○論文の採択件数は医療の質の大きなエビデンスとなる。評価5がいいのでは。	5	○　臨床研究や治験にも積極的に取り組み、特に川崎病に関する研究論文については学会の権威ある賞を受賞するとともに、全国有数の評価を受けるなど、小児･周産期医療の発展に貢献したことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。	116～119
	2　福岡市民病院における経営改善の推進	市民	－	2	3	○1年前(R2実績)と同様の業績をあげており、評価4が妥当ではないか。 *→医業収支比率が目標値を下回ったため、自己評価は3としている。*	4	○　コロナ対応を積極的に行う一方で、地域の医療機関との連携強化や医療資源の効率的活用を図って通常医療を途切れさせず、また、高度医療の実践により診療単価の向上を果たすなど、診療機能の充実及び経営改善に努めた。収支面では、こうした取組の積み重ねやコロナ対策に伴う国や県からの補助金交付により、経常収支における黒字を達成するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	120～123